

高齢者が安全・安心に暮らせる社会のための都市と交通



日野 智 准教授 博士(工学)

Satoru Hino

大学院理工学研究科 システムデザイン工学専攻 土木環境工学コース

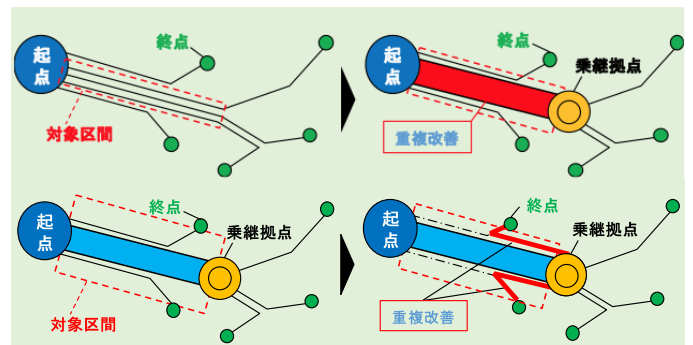
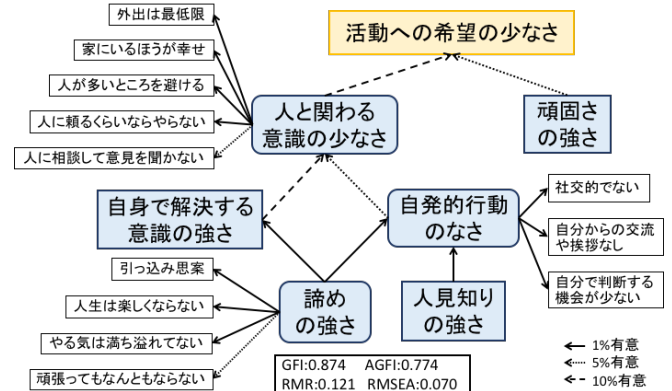
研究キーワード

都市計画・公共交通・高齢者・サービス評価・意識調査分析

研究概要

わが国が高齢社会となって久しく、特に秋田県はその進展が著しい地域の一つと言えます。しかしながら、秋田県は必ずしも高齢者にとって暮らしやすい環境ではないと考えられます。暮らしやすい社会を実現するためには様々な要因が挙げられますが、安全に生活でき、そして安心を感じられることが根本と考えられます。すなわち、安全・安心で、充実や満足を感じられる生活を送ることができるような都市について研究しています。また、買物や通院、余暇など、生活する上での様々な活動には交通による移動が必要不可欠です。しかし、地方部では自家用車に依存した社会となっていますが、公共交通を必要としている人も少なくなく、今後、その重要性はさらに高まるものと考えられます。そのため、生活や交通安全の観点から、利用しやすく持続可能な公共交通についても研究しています。

研究は人の意識や行動を把握することが必要となるため、意識調査の実施・分析を主な研究手法としています。具体的には、いわゆる買物難民を解消するための高齢者の買物行動や意識に関する研究などに取り組んできました。持続可能な公共交通を目指し、乗継の積極的な活用による効率的なバス路線網の構築に関する研究にも取り組んでいます。バス停まで歩くことが困難な高齢者にとって有用なタクシーの活用に関する研究も実施しています。



予想される応用例

各種意識調査・分析の実施・助言
都市計画・公共交通計画への助言

産業界へのアピールポイント

都市計画・公共交通計画の分野は生活の様々な場面と密接に関わっています。そのため、様々な分野と共同で取り組める可能性があるものと思います。

